

第10回 ナーシングヘルスケアネット交流会 報告

2015年10月21日

日時：平成27年10月16日(金)
 場所：北とぴあ 701会議室
 内容：病院から地域へのスムーズな移行への取り組み～在宅療養支援窓口について～
 講演者：東京都北区介護医療連携推進・介護予防担当課長 小宮山 恵美氏
 北区医師会訪問看護ステーション 訪問看護認定看護師 長川清子氏
 参加者： 34名

内訳 (人)

医療機関	行政機関	福祉施設	訪問看護	その他
14	2	7	10	教育 0 出版 1

アンケート集計(回答数： 24 名)

Q1-1) 「職種」について (人)

看護師	保健師	無回答
17	1	2

Q2 年齢 (人)

30	40代	50代	60代
1	10	7	1

無回答 1人

Q3 北区ナーシングヘルスケアネットの参加回数 (人)

初回	2回目	3回目	4回目	5回目
8	4	2	2	0
6回目	7回目	8回目		
1	1	2		

Q4 感想 1)講演 (人)

良い	まあ良い	ふつう	やや悪い	悪い
14	3	1	1	0

未回答1人

2)グループワーク (人)

良い	まあ良い	ふつう	やや悪い	悪い
8	1	2	0	0

未回答9人

3)懇親会 (人)

良い	まあ良い	ふつう	やや悪い	悪い
11	1	3	0	0

未回答5人

Q5 北区ナーシングヘルスケアネットをどこで知ったか？

友人	職場	上司の勧め	ホームページ	未回答
0	8	5	3	1

その他 4人
 ・メール 3人
 複数回答者 1人

Q6 この会が地域の顔の見える関係づくりに有効だと思うか？

思う	まあ思う	思わない	他の会があるから
15	3	0	0

未回答2人

ご意見・ご感想、希望する学習内容など

- ・このような研修・仲間づくりの機会を増やしてほしい。後方の方法の検討を。あまり知られていない現状があります。
- ・北区の高齢者に見合う病床数も少なく、協力支援病床の在院日数MAX12日間という日数で在宅に戻れる高齢者はごくごく一部だと思います。在宅療養相談窓口への相談件数も半年で38件はいかに現実在宅に戻ることの困難なことを高齢者が訴えているように感じました。国の政策は弱者に対して「いじめ」ではと考える。
- ・情報交換で地域の人たちを守って生活していきやすい環境をつくりたいと思う
- ・講演には間に合いませんでしたが、懇親会で一週間の疲れがとれました。ありがとうございました。

文責:松本 啓子